

善行六丁目6-28

障がい者グループホーム「ポノ善行」について

【障害者グループホームとはなんですか？】

グループホームは入居者にとっての家であり、入居者同士が協力し合って暮らします。

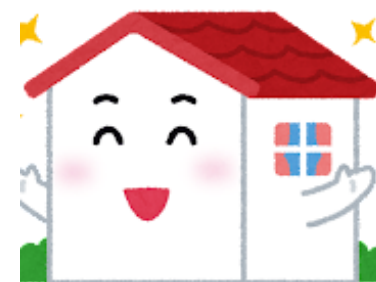
平日の日中は職場や作業所に通勤・通所したり、病院や施設のデイケア等に通い、帰宅後は食事をとったり、入浴など一般の方と同様の生活を行います。

各人には個室があり、食堂、お風呂などは各住居の共同スペースとなっています。

入居に当たっては、あいさつなど生活上のルールなどについてあらかじめトレーニングを行ったり、

入居後も世話人や生活支援員が生活面での助言や指導も行います。

ごみ出しなども普通に行い、自治会の清掃活動等にも参加します。

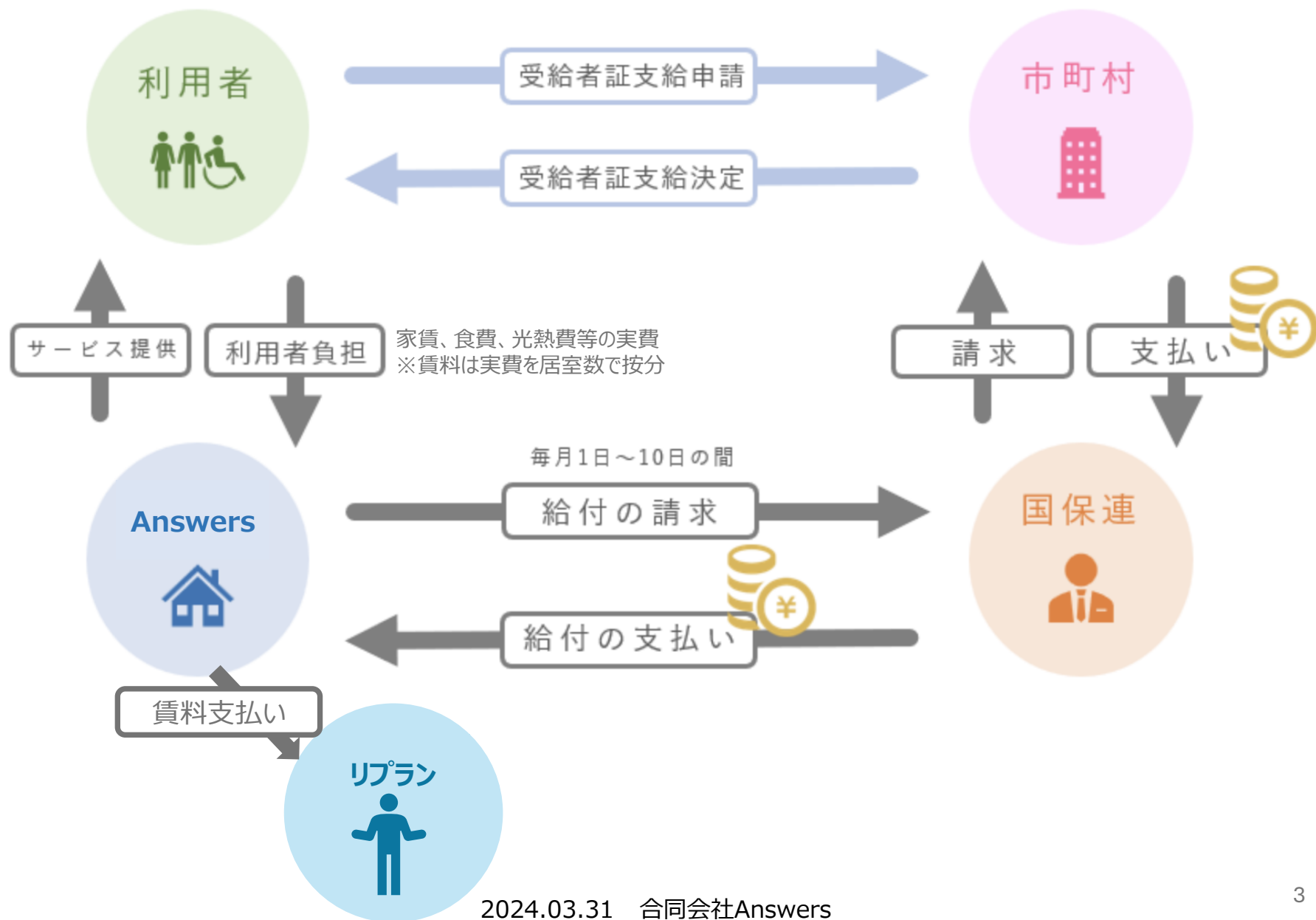


グループホームを規程する根拠法令は

「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（略称：障害者総合支援法）」といい、当グループホームはその中の「共同生活援助」に該当し、さらにその中の「介護包括サービス」という類別となります。

※この類別は行政の用語であり、全ての介護サービスをグループホーム内で行うという意味とは異なります。

【グループホームの収益構造は？】

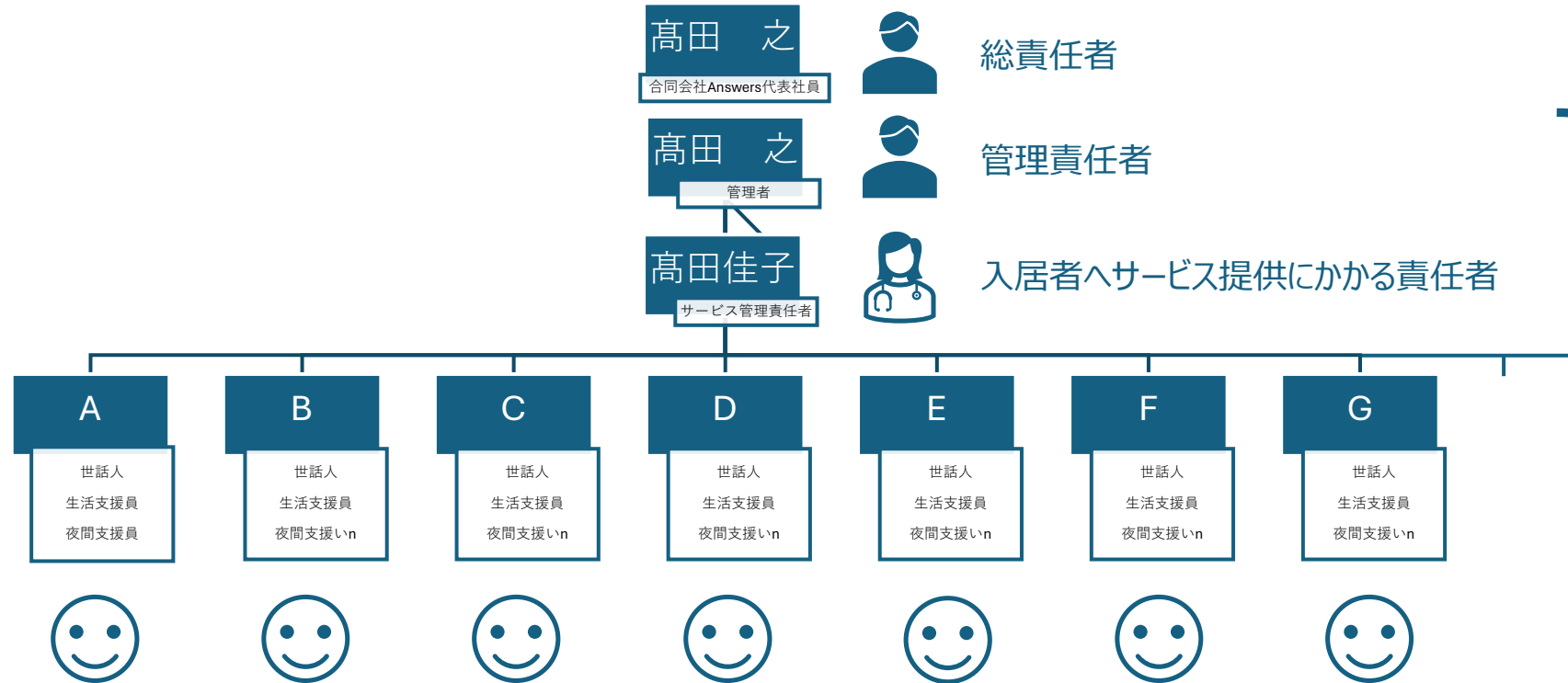


【どういう職員がいるのですか？】

職名	役割	兼任
管理者	事業所の従業者及び業務管理、その他の管理を一元的に行います	基本的にはそれぞれ管理者・サービス管理責任者の業務のみを行いますが、世話人・生活支援員・夜間支援員の業務を行う場合もあります。
サービス管理責任者	個々の入居者の特性に沿った支援方法を計画し、日中活動場所や関係機関との連絡や調整などを行います。各スタッフに業務指示を行う司令塔です	
世話人	食事作りや生活上の相談、健康管理など日常生活の援助を行います	この3つの業務は不可分密接な関係にあり、職員が兼務して行います。職名ごとに職員を分けることはありません。
生活支援員	食事や入浴、排せつなどの直接的な介護を行います	
夜間支援員	22時～翌5時の間の入居者の世話、見守りを行います	

総称して
スタッフ
と呼びます

【組織内の指示命令系統は？】



総称して
スタッフ
と呼びます

スタッフは、ポノ白旗、ポノ立石、ポノ善行の各事業所で勤務します。
世話人・生活支援員・夜間支援員を務めるA以降の職員は、概ね固定した事業所で勤務しますが、複数の事業所を兼務する場合があります。
ポノ善行においては開設が半年以上先になる見込みですので、配置人員の氏名は未定ですが、総勢10～13名程度の職員が交代で勤務する見込みです。

<世話人・生活支援員・夜間支援員>を務めるスタッフは施設に常駐しています。<サービス管理責任者>、<管理者>は業務の必要に応じて事業所に頻繁に往訪しますが常駐はしていません。ただし、万一なにか問題が生じた際は速やかに現場に急行します。

【職員の配置体制は？】

全日シフトモデル（365日同一）																								
	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1	2	3	4	5	6	7	8
夕～朝																	1							
日勤																								
夕勤																								

※日勤・夕勤は、入居者様の状況等によって就業時間帯変更の可能性あり（日あたりの時間数は削減なし・追加あり）

＜職員配置予定＞

8～9時 : 2名

9～16時 : 1名

16～17時 : 3名

17～22時 : 2名

22～8時 : 1名

シフトモデルは現時点での予定です。

入居者様への見守り・支援の必要性に応じて、
増員もしくは時間帯の変更をする場合があります。

ただし、1日あたりのスタッフ配置総時間数（32時間）
を下回ることはありません。

深夜・早朝（22～8時）に緊急事態が発生した場合は、
白旗・立石の事業所からの応援派遣が可能です。

【どんな人が入居するのですか？】

知的障害者とは、発達期（18歳くらいまで）に何らかの原因で、脳の成長が充分でなかったり、脳の一部に損傷を受けた結果、知的な能力が年齢相応に発達せず社会生活上の支障が生じ、適切な支援が必要な状態の人です。

脳が受けた損傷の部位や程度によって、知的障害の状態も異なり、例えば、

- ①身の回りのことが十分にできない人
- ②人付き合いが上手くできない人
- ③周囲の変化に上手く対応できない人

などがあげられます。



兵庫県生涯福祉課「障害者のグループホームってなに？」より抜粋

【どんな人が入居するのですか？】

精神障害者は精神に障害がある人の総称ですが、統合失調症やうつ病、認知症などの精神疾患を有し、日常生活や社会生活に何らかの支障がある人です。

精神疾患は心の病とよく言われますが、実際は、ストレスなどが要因となって脳機能に障害が生じる病気です。

代表的な統合失調症を例にとると、発症は10代後半から30代までが多く、有病率は1％程度と言われており、**さほど希な病気ではありません**。幻覚や妄想といった症状が代表的ですが、それらの症状は**薬物治療などで改善されます**。

症状が軽減すれば、生活支援やリハビリで日常生活に戻ることも十分できます。しかし家庭の事情や地域での受入体制の不備から、症状は軽減していても入院が長期に及ぶ人も多いのが実情です。

グループホームに入居するのは、幻覚などの症状は消えてかなりの年数が経過しており、**通院や服薬管理により通常の生活を送るには特段の支障がない人たち**です。



兵庫県障害福祉課「障害者のグループホームってなに？」より抜粋

【入居者の生活パターンは？】

ほぼ全ての入居者様が就労や日中活動に通うことを想定しています。ただし、退院直後や体調などの都合で通所しない時期がある可能性もあります。また、通所が週に1～2回程度の方や健常者の方と同様に、体調によって通所をお休みして在宅している場合もあります。

<平日>



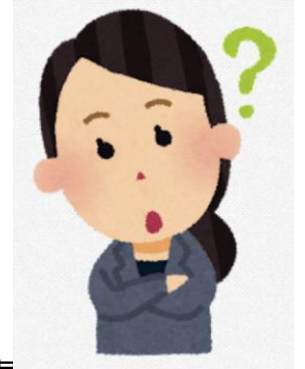
<休日>



【精神・知的障害者がいると危険なのは？】

精神・知的障害 = 他者に危害を加える可能性が高いということは決してありません。

日本全国の刑法犯検挙件数 : 175,041件 (法務省「令和3年版犯罪白書」)
うち精神障害者の検挙件数 : 1,254件 (同) 構成比 : 0.71%



日本の総人口 : 125,700,000人 (令和3年、統計局)
精神障害者総数 : 4,193,000人 (内閣府「令和3年版障害者白書」)
構成比 : 3.0%

→**健常者が犯罪で検挙される確率** : $(175,041 - 1,254) \div (125,700,000 - 4,193,000)$
= **0.14%**
※**健常者10万人あたり140人**

→**精神障害者が犯罪で検挙される確率** : $1,254 \div 4,193,000$
= **0.029%**
※**精神障害者10万人あたり29人**

※データは「警察が検挙した件数」です。不起訴、無罪となった件数も含んでいます。

※グループホーム入居者は、地域社会の中で平穏に生活できると主治医、相談員、管理者、サービス管理責任者が判断し、地域の方にご迷惑をおかけする可能性が極めて低い方に限定されます。

【入居者が地域住民に危害を加えたら？】

グループホーム入居者が地域の方に危害を加える可能性は極めて低いですが、障害を持つ入居者も「人間」であり、感情があり心を持っています。心無い罵詈雑言を浴びせられたり、露骨に無視されたり、理不尽な差別を受けたり、石をぶつけられるなど危害を加えられることがあれば、一人の人間として、健常者の皆さんと同じように怒りを覚え、なんらかの反応をすることもあるかもしれません。



障害の有無に関わらず、いかなる理由があっても、（正当防衛を除けば）他人に危害を加えるような行動は許されません。

万一、入居者が地域住民の方に危害を加えるようなことがあれば、常駐スタッフにご連絡いただければ直ちに対処いたします。連絡先はグループホームの電話番号が決まり次第、現地に掲示いたします。

また、もしも暴力行為、不法侵入などがあれば、直ちに警察を呼んでいただいても結構です。

不測の事態に対しては合同会社Answers代表社員・高田之が責任を持って事態の收拾、被害の回復を行います。

【入居者に会ったとき、どう接したらいい？】

グループホーム入居者は障害を持っていますが、**健常者の皆様と同様の「人間」**です。

健常者には及ばずとも**思考能力も理解力もあり、ルールを理解して従うことができます。**

（そうでなければ様々なルールのあるグループホームで共同生活を送ることはできません）

我々は入居者を迎えるにあたり、「地域の方にお会いしたら、あいさつをしてください」

と指導をします。知的障害の方やASD（自閉症）の方など、なかなか思うように

いかない入居者もいるかもしれませんが、少しずつでも**地域住民の一員として**

善行六丁目に溶け込んで暮らしていけるように努力を続けます。



地域の皆様には、入居者に対して特別のご配慮は不要と考えております。

顔を合わせたら、**住民同士として普通にあいさつ**をしていただければ大変嬉しく存じます。

精神・知的障害があるからといって、さほど**特別な存在ではありません**。危険な野獣ではなく、

皆様と同様に倫理観を持ち、ルールを守って平穏に暮らすことを望んでいる人たちであることを

ご理解いただき、善行六丁目の住民として受け入れていただければ幸いです。